月　日　名前　　／50点

【答え】

【中3】国語 文章テスト　説明文 1/2

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

学校のテストには、たいてい正解がある。答えが合っていれば丸、違えばばつだ。私たちは長いあいだ、この形の問いに答える練習をしてきた。そのせいか、どんな問いにも、どこかに一つの正解が用意されていると考えがちである。

しかし、生活の中で出会う問いの多くは、そうではない。部活を続けるかやめるか。友だちとけんかしたとき、先にあやまるかどうか。こうした問いには、誰にとっても同じ一つの正解はない。どちらを選んでも、得るものと失うものがある。

正解が一つでない問いに向き合うとき、私たちはつい、誰かに正解を教えてほしくなる。先生や親、あるいはインターネットの意見に答えを探す。もちろん、ほかの人の考えを聞くことは役に立つ。けれども、その答えは、その人の状況や大切にしているものから出てきたものであり、そのまま自分の答えになるとはかぎらない。

では、どうすればよいのか。大切なのは、「どれが正しいか」ではなく、「自分は何を大切にしたいのか」を問うことである。部活を続けるかどうかは、仲間との時間を大切にしたいのか、別のことに時間を使いたいのかによって、答えが変わる。自分が大切にしたいものがはっきりすれば、選ぶべき道も見えてくる。

正解が一つでない問いに答えを出すことは、自分がどんな人間でありたいかを決めることでもある。その答えは、あとで変わってもかまわない。大切なのは、他人の正解を借りるのではなく、自分で考えて選んだという事実である。そうして選んだ答えは、たとえうまくいかなかったとしても、次に考えるための確かな足場になる。

（この問題のための書き下ろし）

問一（十点）　筆者は、私たちはどんな問いにも何があると考えがちだと述べていますか。本文中から二十字以内で抜き出しなさい。

どこかに一つの正解が用意されている			

問二（十点）　第二段落で、筆者が部活やけんかの例を挙げたのはなぜですか。最も適切なものを、次のア～エから一つ選びなさい。

ア　生活の中の問いには、誰にとっても同じ一つの正解がないことを示すため。
イ　部活やけんかは、中学生にとっていちばん大切な問題だと示すため。
ウ　テストの問いよりも、生活の問いのほうがやさしいことを示すため。
エ　先生や親に相談することが大切だと示すため。

ア

問三（十点）　筆者は、ほかの人の答えは何から出てきたものだと述べていますか。本文中から二十字以内で抜き出しなさい。

その人の状況や大切にしているもの			

問四（十点）　筆者は、正解が一つでない問いに向き合うとき、何を問うことが大切だと述べていますか。本文中から十五字以内で抜き出しなさい。

自分は何を大切にしたいのか			

問五（十点）　筆者は、自分で考えて選んだ答えにはどんな意味があると述べていますか。「うまくいかなかったとしても」という言葉を使って、六十字以内で説明しなさい。

他人の正解を借りずに自分で考えて選んだ答えは、うまくいかなかったとしても、次に考えるための確かな足場になるという意味。

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

冬休みの塾の自習室で、私の隣の席には、いつも同じ女の子が座っていた。制服を見ると、別の中学の生徒だった。名前も知らない。私より先に来て、私より後まで残っていた。
彼女は、とにかく静かだった。ページをめくる音と、ときどき消しゴムを使う音しか聞こえない。私が集中できずにスマホを見てしまうときも、彼女の手は止まらなかった。私は、なんとなく負けたくなくて、スマホをかばんの奥にしまうようになった。
ある晩、私は数学の問題で完全に行きづまった。何度解いても答えが合わない。消しゴムで消しすぎて、紙が薄くなった。思わず、小さくため息をついた。
すると、隣から一枚のメモが、そっと差し出された。
「その問題、私も三日かかった。図をかくと分かるよ。」
顔を上げると、彼女は前を向いたまま、自分の問題を解き続けていた。私は言われたとおり図をかいてみた。すると、見えていなかった線が、すっと浮かびあがった。
私はメモの裏に「ありがとう。解けた！」と書いて、彼女の机のはしに置いた。彼女はそれを読んで、少しだけ口元をゆるめた。
それから冬休みが終わるまで、私たちは一度も声を出して話さなかった。そのかわり、ときどきメモを交換した。「今日は英語」「がんばろう」、そんな短い言葉だけだった。
最後の日、彼女の席に、一枚のメモが残されていた。
「春にどこかで会えたら、今度は声で話そう。」
私はそのメモを、参考書の表紙の裏にはさんだ。受験の日、試験会場の廊下で、私はその参考書を開き、メモの字を指でなぞった。名前も知らない誰かが、どこかで同じ日を迎えている。そう思うと、ふるえていた指先が、少しだけ落ち着いた。

（この問題のための書き下ろし）

問一（十点）　私がスマホをかばんの奥にしまうようになった理由を表す言葉を、本文中から十五字以内で抜き出しなさい。

なんとなく負けたくなくて

問二（十点）　隣の女の子のメモには、問題を解くためにどうするとよいと書いてありましたか。本文中から十字以内で抜き出しなさい。

図をかくと分かる

問三（十点）　「前を向いたまま、自分の問題を解き続けていた」とありますが、ここから分かる女の子の人物像として最も適切なものを、次のア～エから一つ選びなさい。

ア　私に助けを求められるのがいやで、無視している。
イ　相手に気をつかわせないよう、さりげなく手助けをする人である。
ウ　自分の勉強が遅れるのを心配して、あせっている。
エ　私のため息がうるさくて、腹を立てている。

イ

問四（十点）　「ふるえていた指先が、少しだけ落ち着いた」とありますが、それはなぜですか。六十字以内で説明しなさい。

名前も知らない彼女も、どこかで同じ受験の日を迎えていると思うと、一人ではないと感じて心強くなったから。

問五（十点）　この文章の表現の特徴として最も適切なものを、次のア～エから一つ選びなさい。

ア　二人の会話をたくさん使い、友情が深まる様子を説明している。
イ　声を出さずに交わされるメモの短い言葉を通して、二人の心の通い合いを描いている。
ウ　受験の厳しさを、数字や具体的なデータで説明している。
エ　女の子の視点から、私の成長を描いている。

イ

【中3】国語 文章テスト（100点）　説明文 1/2　答えと解説（1問の配点は問題の半分）

問一（十点）　答え：どこかに一つの正解が用意されている　（一つの正解 でも正解）

解説：第一段落の最後の一文が根拠。テストの形の問いに答える練習をしてきたことが、その理由として述べられている。

問二（十点）　答え：ア

解説：例の直後の「こうした問いには、誰にとっても同じ一つの正解はない」が根拠。

問三（十点）　答え：その人の状況や大切にしているもの

解説：第三段落の最後の一文が根拠。だから「そのまま自分の答えになるとはかぎらない」と筆者は続けている。

問四（十点）　答え：自分は何を大切にしたいのか

解説：第四段落の「大切なのは、『どれが正しいか』ではなく、『自分は何を大切にしたいのか』を問うことである」が根拠。「どれが正しいか」と取り違えない。

問五（十点）

答えの例：他人の正解を借りずに自分で考えて選んだ答えは、うまくいかなかったとしても、次に考えるための確かな足場になるという意味。

解説：最後の段落の「他人の正解を借りるのではなく、自分で考えて選んだ」「たとえうまくいかなかったとしても、次に考えるための確かな足場になる」が根拠。

採点のポイント（二つそろって満点、一つなら半分）

①他人の正解を借りず、自分で考えて選んだ答えである

②うまくいかなくても、次に考えるための足場になる

【中3】国語 文章テスト（100点）　物語文 2/2　答えと解説（1問の配点は問題の半分）

問一（十点）　答え：なんとなく負けたくなくて

解説：第二段落の最後の一文が根拠。名前も知らない相手の、手が止まらない姿に刺激を受けている。

問二（十点）　答え：図をかくと分かる

解説：メモの言葉「図をかくと分かるよ」が根拠。

問三（十点）　答え：イ

解説：メモを「そっと」差し出し、そのまま自分の勉強を続けている。お礼を求めない、さりげない親切を表している。「私も三日かかった」という言葉も、相手を気楽にさせる気づかい。

問四（十点）　答えの例：名前も知らない彼女も、どこかで同じ受験の日を迎えていると思うと、一人ではないと感じて心強くなったから。

解説：直前の「名前も知らない誰かが、どこかで同じ日を迎えている。そう思うと」が根拠。自習室で並んで勉強した日々と、残されたメモが支えになっている。

採点のポイント（二つそろって満点、一つなら半分）

①彼女もどこかで同じ受験の日を迎えていると思った

②一人ではないと感じ、心強くなった

問五（十点）　答え：イ

解説：二人は「一度も声を出して話さなかった」。メモの短い言葉だけで気持ちが通じ合っていく様子が中心。アは会話がないので合わない。エは語り手が「私」なので合わない。